

事業所名

えびす夙川

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

2月

28日

法人（事業所）理念		人を支え続け、人間や環境を変える そのために、会社の構成員、顧客、地域社会にとって「幸せ」な社会を、若者が中心となり創り出すことを目的とした事業を行います。						
支援方針		（事業所の総合的な支援方針） ・人とのコミュニケーションスキルを、SST（ソーシャルスキルトレーニング）のグループセッションの受講と、集団活動での反復練習により身につけられるように支援する。 ・日常生活に必要なソーシャルスキルを、一人一人に合わせた個別療育により身につけられるように支援する。 ・学校での集団授業が難しい利用者に対し、授業内容の理解を促すために、一人一人が学びやすい環境や方法、教材などを提案することにより学習面の支援をする。						
営業時間		※曜日毎に 違いあり	15時	0分から	19時	30分まで	送迎実施の有無	なし
支援内容								
本人支援	健康・生活	・コンディションチェック／自身の心身の状況、調子などに注目する機会をつくり、それを他者と共有することで、自他の変化に気づききっかけや習慣をつくる ・参加環境の構造化／それぞれの特性に応じて視覚情報を用いたり、場面と行動を判別しやすい環境設定などの構造化を実施する						
	運動・感覚	・聞く姿勢の定着支援／SSTプログラムにおいてABAを用いた行動強化の支援を実施する ・感覚特性への対応／視覚や聴覚などの過敏や鈍麻の特性に応じて、参加者の事前調整や2場面の活用、可動式パーティションなどの活用による環境調整を実施する ・感覚の活用支援／保有する視覚、聴覚、触覚等を十分に活用できるよう、ボール遊び等を通して支援する						
	認知・行動	・感覚や認知の活用／視覚、聴覚、触覚等の感覚について現状を図り、現在のチカラを十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う。 ・知覚から行動への認知過程の発達／遊び、ゲーム等を通して、環境から情報を取得し、そこから必要なことを選択し、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援する。 ・認知や行動の手掛かりとなる概念の形成／遊び、ゲーム等を通して物の機能や属性、形、色、音が変化の様子、空間・時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援する。 ・認知の偏りへの対応／認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援し、認知の偏り等の個々の特性に配慮する。 ・行動障害への予防及び対応／SSTプログラム等により、感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行う。						
	言語 コミュニケーション	・言語の形成と活用／SSTプログラム等において、教示・モデリングの過程において、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。 ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得／コミュニケーション能力の向上のための支援を行う。						
	人間関係 社会性	・アタッチメント（愛着行動）の形成／人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。 ・一人遊びから協同遊びへの支援／周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。 ・自己の理解とコントロールのための支援／自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する。 ・集団への参加への支援／SSTプログラム等により、集団に参加するための手順やルールを理解し、学校や家庭においても遊びや集団活動に参加できるよう汎化支援する。						
家族支援		・子どもに関する情報の提供と定期的な支援調整 ・子育て上の課題の聞きとりと必要な助言 ・子どもの発達上の課題についての気づきの促しとその後の支援 ・相談支援専門員との定期的な支援会議や支援計画の調整 ・関係者、関係機関の連携による支援体制の構築 ・家族支援プログラム(個別の面談等)の実施 など			移行支援		移行先（関係機関）との連携(支援内容等の共有や支援方法の伝達) ・専門職による子どもの発達の評価 ・合理的配慮を含めた環境の評価 ・関係機関との具体的な調整 ・家族への情報提供 ・関係機関との援助方針や支援内容等の共有、支援方法の伝達 ・子どもの情報、保護者の意向等について関係機関への伝達 ・利用日数や時間等の調整 など	
地域支援・地域連携		・医療機関、教育機関、行政等の専門機関の関係者との連携 ・西宮市児童通所支援事業所連絡会（西児連）の運営協力および自立支援協議会等への参加、参画 など			職員の質の向上		・職員の援助技術習得状況等に応じた研修機会について情報提供および参加のための調整、補助等 ・定期面談の実施による職員の健康、生活環境等の理解と支援 など	
主な行事等		・季節に応じた活動プログラムの導入実施 ・SSTプログラム等の日常的な支援の汎化を図り、その評価を行うための非日常体験企画（イベント） ※過去実績：地域のベーカーリーとのパン作り、クッキング企画、野外活動施設における火起こしイベント、グループ外出探索活動 など						